関門航路［南東水道地区］潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

次のとおり、関門航路［南東水道地区］の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

1．工事作業期間について(気象等の影響により若干変わる事があります。)

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水士船	16隻(最大)	20工区	R8.9上旬～R8.10中旬	日の出～日没	4隻
	浚渫	ドラグサクション式浚渫船	1隻	20工区	R8.11中旬～R9.2上旬	昼・夜	－

※お知らせは、関門航路事務所ホームページでダウンロードできます。
(https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/)

2．工事作業の場所……南東水道地区(図－１参照)

3．工事作業の概要及び安全対策

3－1　潜水探査

1)潜水士船は最大１６隻を航路に平行になるように配置します。(図－２参照)
2)潜水士船１隻に１名の潜水士を投入します。
3)潜水士船には、国際信号旗「Ａ旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。(図－３参照)
4)潜水探査作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を揚げた警戒船４隻(内１隻は国際ＶＨＦ無線を装備したもの)を配置します。(図－２、４参照)
5)潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が300ｍを超える場合は中間に俵ブイを配置します。(図－２、５参照)
6)航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、１万ＧＴ以上の西航船がある場合は航路外に退避します。また、航路中心線から南側で潜水探査を行う場合、１万ＧＴ以上の東航船がある場合は航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
7)現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。
(視界2,000ｍ未満、波高0.7ｍ以上、風速10.0m/sec以上、津波注意報・警報発表時)

3－2　浚渫工事

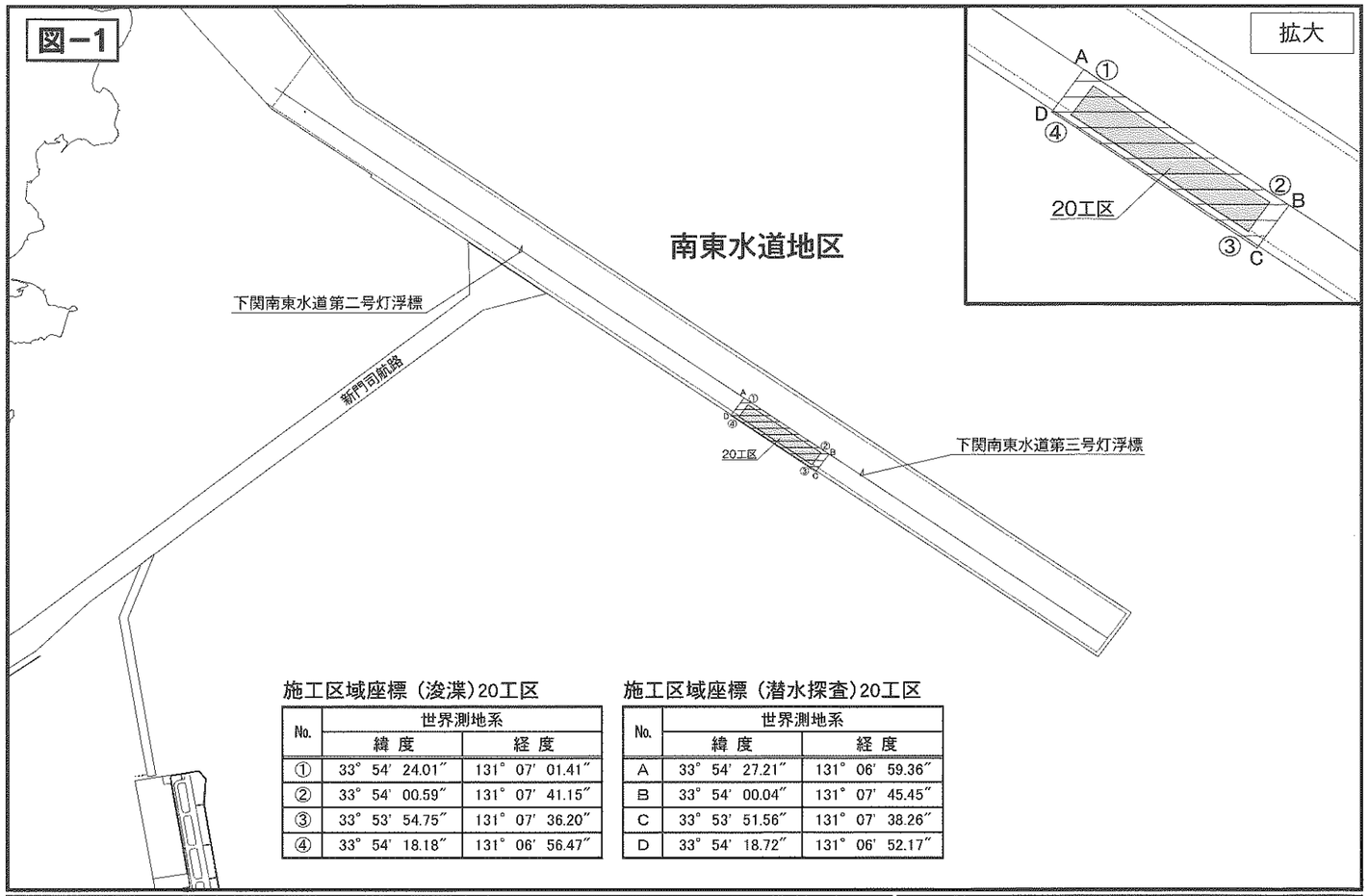
1)国有ドラグサクション式浚渫船『海翔丸』にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。(図－６、７参照)
2)浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を揚げ、浚渫工事中であることを明示します。(図－８参照)

4．情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。

〈九州地方整備局　関門航路事務所〉
潜水探査関係：建設管理官室
TEL 093－512－8098
浚渫工事関係：海洋環境・防災課
TEL 093－512－8099

図－1



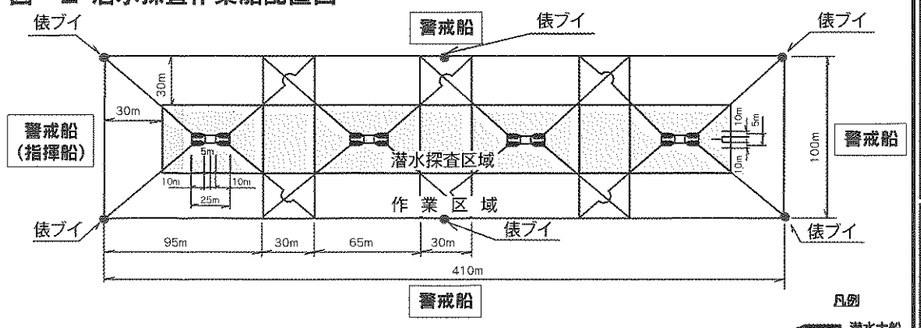
施工区域座標（浚渫）20工区

No.	世界測地系 緯度	世界測地系 経度
①	33° 54′ 24.01″	131° 07′ 01.41″
②	33° 54′ 00.59″	131° 07′ 41.15″
③	33° 53′ 54.75″	131° 07′ 36.20″
④	33° 54′ 18.18″	131° 06′ 56.47″

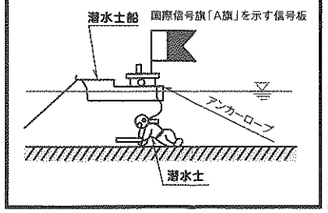
施工区域座標（潜水探査）20工区

No.	世界測地系 緯度	世界測地系 経度
A	33° 54′ 27.21″	131° 06′ 59.36″
B	33° 54′ 00.04″	131° 07′ 45.45″
C	33° 53′ 51.56″	131° 07′ 38.26″
D	33° 54′ 18.72″	131° 06′ 52.17″

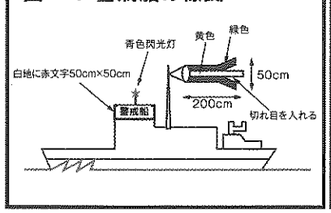
図－２ 潜水探査作業船配置図



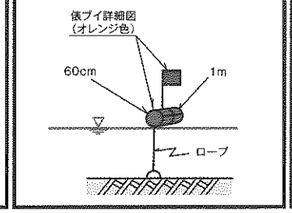
図－３ 潜水士船の標識



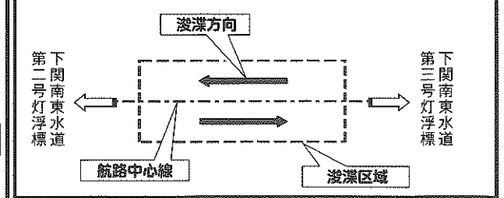
図－４ 警戒船の標識



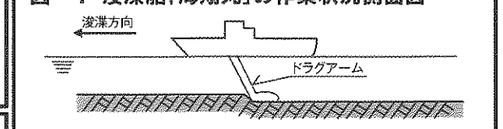
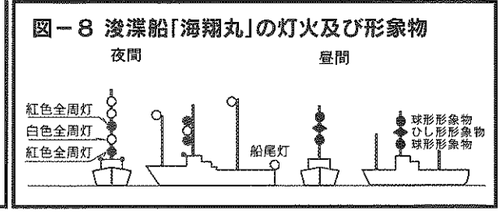
図－５ 俵ブイ詳細図



図－６ 浚渫船「海翔丸」の作業状況平面図



図－７ 浚渫船「海翔丸」の作業状況側面図



図－８ 浚渫船「海翔丸」の灯火及び形象物